

第**29**回

長崎県理学療法学会大会
in 時津

Progress

未来の働き方の可能性を拓げる



公益社団法人
長崎県理学療法士協会

会期：平成30年2月24日（土）～ 2月25日（日）
会場：とぎつカナリーホール
主催：公益社団法人 長崎県理学療法士協会
担当：長崎・西彼地区



第 29 回 長崎県理学療法学会 in 時津

大会長 大木田 治夫

第 29 回長崎県理学療法学会を平成 30 年 2 月 24 日（土）、25 日（日）の 2 日間、西彼杵郡時津町のカナリーホールにおいて開催いたします。西彼杵郡での開催は初めてのことで、またスタッフの多くが初めての体験でもあり、期待と緊張の面持ちでこの日を迎えております。

平成 26 年(2014 年)6 月に「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」が公布・施行、関係法令の改正も順次行われ、現在“地域包括ケアシステム”の構築が急がれている状況です。

そのような中で我々理学療法士は、昭和 40 年(1965 年)の“理学療法士及び作業療法士法”の公布以来、医療の領域に留まらず介護や予防の領域にまでその活動を拡大しております。

長崎県内の会員数は、長崎県理学療法士会発足時の昭和 46 年(1971 年)は僅か 16 名、社団法人を取得した平成 7 年(1995 年)には 266 名であったのが、現在(2017 年)では 2000 名を超えるまでに増加しています。年齢構成は、20・30 代が 7 割を占め、非常に若い団体です。このように若い会員の多い団体においては、教育そして職域の問題が大きな課題と言えましょう。

本大会のテーマを「Progress～未来の働き方の可能性を拓げる～」とし、これからの様々な分野での活動を探り、未来の可能性を拓げる大会になればと思います。

今回、基調講演に株式会社アンプリワイズ代表取締役の山内義崇先生、県民公開講座にスポーツクラブ内村・Shu バレエスタジオコーチの内村周子先生と motto Assist 代表の能由美先生にご講演をいただく機会を得ました。

山内先生は、理学療法士として長年勤務した病院やクリニックなどで得た知識と技術と経験と情熱で企業での腰痛アドバイザーとして活躍されており、「産業保健での可能性を拓げる」をテーマにご講演して頂きます。

また能先生は、スポーツ整形外科勤務やスポーツ現場でのチームサポートの経験を活かし、医師や指導者と連携しながら子ども達やアスリートのアシスト活動にご活躍されています。

内村先生は、改めてご紹介しなくても皆さんよくご存知とは思いますが、オリンピック金メダリスト内村航平選手のお母さままで子供から大人まで幅広く指導に関わっていらっしゃいます。能先生と内村先生には、「スポーツを通じて子ども達の可能性を拓げる」をテーマにご講演して頂きます。

日韓交流講演では、MOU を結んで 5 年目となる釜山広域市物理治療士会副会長の HAN Ok Cheon 様より、韓国の産業リハビリテーションについてご講演いただきます。

本大会が、参加していただく皆様にとって理学療法士としての職域の拡大のみならず、知識と技術に裏付けされた専門性と人間力の拡大の一助になれば幸いです。多数の皆様の参加をお待ち申し上げます。



公益社団法人 長崎県理学療法士協会

会長 塩塚 順

大木田先生を大会長に、第 29 回長崎県理学療法学会が開催されますことに、挨拶をさせていただきます。第 1 回大会から会員数は約 10 倍の 2000 名を超える組織となり、演題数増加や 2 日間の開催日程と大会規模は拡大してきました。その間、理学療法士をはじめリハビリテーション専門職種は、2000 年の介護保険施行後に認知度が高まり、国民・県民に必要とされる職種として期待されてきました。しかし、昨今の養成校の過剰な増加を背景に需要と供給のバランスは崩れています。4 月には、医療保険と介護保険の同時改正が行われます。病院の機能分化の促進により、急性期病院や慢性期病院の病床の削減が行われると思います。しかし、回復期病院の病床数は増加することが予測されます。2 年前の診療報酬改正時には、アウトカム評価制度が始まり「リハビリテーションの質」が問われるようになりました。一部より、理学療法士の質の低下が指摘されています。理学療法士数が増加すれば、診療報酬の単価が変わらなければ医療費は同時に増加する訳ですので、単価を下げることになります。しかしながら、理学療法対象の患者には逆に理学療法サービスの質の低下が予想されます。アメリカやオーストラリアでは、子供が将来なりたい職業では、理学療法士は上位にランクされています。現状のままでは未来は悲しいものになります。理学療法士の「未来の働き方の可能性を拓ける」という大会テーマは、まさに的を得ています。

平成 31 年には指定規則が変更されます。養成単位数が 93 単位から 101 単位に増加されます。また、臨床実習教育者の経験年数も現行の 3 年から 5 年に引き上げられ、さらに 16 時間の研修受講が義務付けられます。「量より質」を重視した教育体制が始まります。また、同年には専門職大学制度が始まり私の母校である高知リハビリテーション学院が大学へ移行します。今後さらに単位数増加により専門学校は、専門職大学への移行を考えるようになることが予想されますが経営面を考えると養成校の減少も予想されます。

理学療法士の対象も疾患や障害を持った患者から疾病予防・介護予防などの予防分野への参画が重要となり、さらには産業リハビリテーションまたは産業理学療法(仮称)領域の職域拡大が必要となります。釜山物理療法士協会との MOU 締結から今年で 5 年目になります。韓国ではこの産業領域への理学療法士の進出が進んでいるようです。今回の特別講演では、その点の紹介が行われることが期待されます。

私の好きな言葉に、「他人と過去は変えられない 自分と未来は変えられる You can't change other person and your past, but you can change yourself and your future. : カナダ精神科医」が有ります。魅力ある未来を「拓ける」ための学会になることを祈念します。

参加者の皆様へ

1. 学会誌は学会当日に必ずご持参ください。

学会誌は事前にダウンロード・印刷にてご準備下さい。

詳細は、7 ページ目「学会誌のご案内」にてご確認ください。

2. 参加受付について

第 1 日目 (2/24) は 12 : 00 より、第 2 日目 (2/25) は 9 : 00 より地下 1 階ホワイエ前にて参加受付を行います。会場案内につきましては、10 ページ目をご参照ください。

3. 参加費について

会 員 : 2,000 円 学生 : 500 円 (「学生証」を提示してください)

会員外の方に関しては、参加費 : 2,500 円と資料代 : 2,500 円をご用意下さい。

※おつりの不足が予想されます。あらかじめご準備下さい。県民公開講座のみの参加は無料です。

4. 生涯学習及び新人教育プログラム履修について

本学会大会は、日本理学療法士協会生涯学習システムの単位認定学会大会です。

協会会員の方は、以下の履修単位及びポイントに該当します。

- 新人教育プログラム履修中の会員

発表者 : 理学療法臨床 C-6「症例発表」 3 単位

- 専門領域研究部会に登録済みの会員

参加者 : 1. 学会参加 6) 都道府県学会学術集会・学会 10 ポイント

発表者 : 4. 学会発表等 4)「ブロック学会」・「都道府県学会」での一般発表 (指定演題含む)
の筆頭演者 5 ポイント

※新人教育プログラム、専門領域研究部会ともに登録の際には会員証が必要になります。

会員証を必ずご持参ください。

5. その他 会場内での留意事項について

➤ 会場内では、必ずネームホルダーを身に付けてください。ネームホルダーは、24日終了時、25日終了時、会場から帰られる際に回収しますので持ち帰らないようにして下さい。

また、両日参加の方は2日目も必ず参加証を持参するようにお願いします。

➤ インフルエンザ等の流行が懸念されます。手洗い・マスク等、参加者各自で十分な対策をお願い致します。

➤ ホール内での喫煙はご遠慮ください。館内は全館禁煙となっております。

喫煙は正面入口又は民俗資料館側の喫煙所にてお願いいたします。

➤ ホール客席内での飲食はご遠慮いただいております。

また、ロビーやラウンジでの食事はご遠慮いただきますようお願いいたします。

➤ お手持ちのゴミはお持ち帰りいただきますよう、宜しく願いいたします。

➤ 携帯電話につきましては、会場内では必ずマナーモードに設定してください。

➤ 会場内での録音・写真・ビデオ撮影等は、著作権保護・プライバシー保護などのため一切禁止させていただきます。

- 駐車場には約 260 台の駐車スペースがあります。駐車場内では、係の指示に従ってください。近隣の施設や店舗への駐車はご遠慮ください。

座長へのご案内

- 座長は担当セッション開始時刻 30 分前までにエントランスロビーに設けております「座長受付」で登録を済ませ、開始時刻 10 分前までに「次座長席にご着席ください。詳細は 11 ページ目「会場内案内」にてご確認ください。
- 担当セッションの進行については、すべて座長に一任します。必ず予定時間内に終了するようにご配慮下さい。発表時間は 7 分、質疑応答 3 分です。

演者へのご案内

【口述発表の演者の方へ】

1. 発表データについて

- OS は Windows 7, アプリケーションは Windows 版 Power Point 2013 以下で動作確認をお願い致します。(※Mac OS で作成された方は、特にご注意ください)
- 動画の使用は可能です。ただし、何らかの原因で当日に動画が再生できない場合も考えられます。その旨をご了承の上、使用してください。
- 文字化け、画像レイアウトのバランス異常を防ぐため、Power Point に標準設定されている True Type フォントを使用してください。
- 発表データは、原則 USB メモリにて当日ご持参してください。USB メモリ内には発表データのみとし、他の関係のないデータは保存しないでください。(データ登録の際に混乱の原因となります)
- USB メモリは、各自で必ずウイルスチェックを行ったうえでお持ち込みください。
- バックアップとして、CD-R や他の USB メモリでの予備データをご持参いただくことをお勧めします。

2. 発表受付について

- 来場時は以下の時間内に、エントランスロビーホワイエの「演者受付」にて受付を行って下さい。
- 演者受付の際に、大会受付本部にてスライドファイルの試写・確認を必ず行ってください。

<受付・発表時間>

セッション番号	受付日	受付時間	発表時間
①、②	1 日目 (2/24)	12:00~13:00	15:30~16:30
③、④		13:00~13:30	16:40~17:40
Free		13:30~14:30	(2 日目発表者も受付可)

セッション番号	受付日	受付時間	発表時間
⑤、⑥	2 日目 (2/25)	9:00~9:20	9:50~10:50
⑦、⑧		12:00~12:30	13:20~14:20

- * : 2 月 25 日 (2 日目) の演者の方も、可能な限り前日の Free 時間に受付を終了して下さい。
(特にセッション⑤、⑥の演者の方は発表までの時間が限られていますので、ご協力をお願いします)

3. 発表方法について

- 演者は、発表予定時刻の 15 分前までに、会場左前の「次演者席」に着席して下さい。
- 発表者の予定時刻は、大会抄録集にてご確認下さい。
- PC と Power Point を使用したデジタルプレゼンテーションでの発表のみとなります。
- 発表時間は、発表 7 分、質疑 3 分の計 10 分です。(時間厳守にてお願い致します)
- 発表の際の画面操作は、演者本人でお願いします。
- スライド発表の進行は「座長」が行いますので、指示に従って下さい。
- 1 演題ごとに、発表制限時間の終了 1 分前に合図のベルが鳴りますので、残り 1 分で内容を速やかにまとめて発表を終了して下さい。

【ポスター発表の演者の方へ】

- ポスターはあらかじめ指定された時間内に、指定された場所(演題番号のパネル)に貼付し、発表後も指定された時間内に撤去して、必ず各自でお持ち帰りください。
- ※指定時間を過ぎても撤去されていないポスターは、大会側で処分いたしますので予めご了承ください。

〈貼付・撤去時間〉

セッション	貼付時間	発表時間	撤去時間
ポスター1 日目 (2/24)	12 : 00 ~ 13 : 30	16 : 40 ~ 17 : 40	18 : 00 ~ 18 : 15
ポスター2 日目 (2/25)	9 : 00 ~ 9 : 50	9 : 50 ~ 10 : 50	12 : 30 ~ 13 : 20

- 演題受付は行いません。開始時刻10分前に各自のポスター前で待機してください。なお、該当セッション時間中は、その場を離れないようお願いいたします。
- 掲示はパネルの横90cm×縦160cmの範囲とします。大会側で、パネルの左上に演題番号を用意いたします。その右側に縦20cm×横70cmのサイズ内で、発表者の顔写真(カラー、L判程度：8.9cm×12.7cm)と演題タイトル・演者名・所属を表記してください。
- 発表形式は自由討議のみとなりますので、プレゼンテーション等を行う準備は必要ございません。

学会誌のご案内

〈注意事項〉

本大会は学会誌の郵送を行いません。下記 URL より事前にダウンロード・印刷をしていただき、各自にてご準備下さい。

〈長崎県理学療法士協会ホームページ〉

<http://www.npta.or.jp/wp/>



〈第 29 回長崎県理学療法学会 in 時津 特設ページ〉

http://www.npta.or.jp/wp/?page_id=1834

会場へのご案内

<会 場> 時津カナリーホール

〒851-2104 長崎県西彼杵郡時津町野田郷 62 TEL:095-882-0003

【会場広域地図】



<お車でご来場の方へ>

- ・長崎市内より琴海方面へ 30～50 分（道路の混雑状況により変動します）。
- ・長崎多良見 IC より、川平バイパス（時津方面）を經由し、終点時津まで進み、バイパス終点の井出園交差点を右折し国道 206 号線を琴海方面へ進み、カナリーホールの看板を目印に、交差点（CS とヤマダ電機の間）を左折そのまま直進して御越し下さい。



＜駐車場案内＞ 《駐車場》 無料

第 1 駐車場：129 台（1 階 70 台／2 階 59 台 うち身障者用 2 台）

第 2 駐車場：30 台 / 第 3 駐車場：101 台

＜公共交通機関をご利用の方へ＞

路線バス（長崎バス）溝川・大串・琴海ニュータウン行きで 30～50 分
（道路の混雑状況により変動します）野田バス停にて下車、徒歩 8 分

【会場アクセスマップ】



情報交換会について

第 29 回長崎県理学療法学会 in 時津において、療法士間の親睦を深め、併せて貴重な情報や意見を交換させていただく趣旨のもと、恒例の情報交換会を下記のとおり開催いたします。発表される方はもちろん、座長や参加される方を含め、日ごろ親交がない方々とも地域や職場を超え親睦を深め、今後の業務に生かせる貴重な情報交換の場になるものとおもいます。多くの方々の参加を心よりお待ちしております。

○会 期：平成 30 年 2 月 24 日（土曜日）

○時 間：19：00～21：00

○受 付：学術大会会場受付（エントランスロビー）

※学術大会会場で受付ができない方のため、情報交換会会場（長崎ロイヤルチェスターホテル）での受付も行います。

○会 場：長崎ロイヤルチェスターホテル（会場までの送迎バスあり）

〒852-8156 長崎県長崎市赤迫 3 丁目 6-1 0 TEL:095-856-1101

○会 費：4000 円

○問合せ：長崎医療技術専門学校 山内 満 TEL：095-827-8868

至 時津カナリーホール



至 長崎市内

会場内案内 <時津カナリーホール>

Floor-2



Floor-1



Floor-B1



式 次 第

《開会式》

平成 30 年 2 月 24 日（土） 13:30～13:50

時津カナリーホール ホール

- | | | |
|----------|------|---------|
| 1. 開会の挨拶 | 大会長 | 大木田 治夫 |
| 2. 主催者挨拶 | 会長 | 塩塚 順 |
| 3. 祝辞 | 時津町長 | 吉田 義徳 様 |

釜山広域市物理治療士会 会長 Yang Ki-wan 様

《閉会式》

平成 30 年 2 月 25 日（日） 17:00～17:15

時津カナリーホール ホール

- | | | |
|------------|-------|--------|
| 1. 表彰式 | 大会長 | 大木田 治夫 |
| 2. 次期大会長挨拶 | | 塩塚 順 |
| 3. 閉会の挨拶 | 準備委員長 | 飯野 朋彦 |

第 29 回長崎県理学療法学会プログラム(1日目/2日目)

とぎつカナリーホール 平成30年2月24日(土)～25日(日)

1日目	ホール	リハーサル室	エントランスロビーホワイエ
10:00～12:00	新人による施設紹介(長崎地区研修会)		
12:00～13:30			受付(ポスター貼付)
13:30～13:50			開会式
13:50～15:20			【基調講演】 産業保健での可能性を拓げる 講師:山内義崇 氏 座長:大木田治夫(学会大会長)
15:30～16:30	口述①	口述②	ポスター①
16:40～17:40	口述③	口述④	
18:00～18:15			ポスター撤去

19:00～21:00	情報交換会(ロイヤルチェスターホテル)
-------------	---------------------

2日目	ホール	リハーサル室	エントランスロビーホワイエ	
9:00～			受付(ポスター貼付)	
9:50～10:50			口述⑤	ポスター②
11:00～12:30	【日韓国際交流講演】 韓国における産業理学療法の現況 講師: HAN Ok Cheon 氏 座長: 塩塚順(県協会会長) 浦川純二(県協会学術局長)			
12:30～13:20	休憩(ポスター撤去)			
13:20～14:20	口述⑦			口述⑧
14:20～15:00	休憩(県民公開講座開場)			
15:00～17:00	【県民公開講座】 スポーツを通じて 子ども達の可能性を拓げる ①内村周子 氏 ②能 由美 氏 司会:奈良崎博一(学会副大会長)			
17:00～17:15	閉会式(優秀者表彰/次期学会報告)			

基 調 講 演

2月24日（土） 13:50～15:20

時津カナリーホール ホール

産業保健での可能性を拡げる

講 師 山内 義崇 氏

株式会社アンプリワイズ代表取締役
理学療法士

座 長 大木田 治夫

第 29 回長崎県理学療法学会 大会長



プロフィール

山内 義崇（やまうちよしたか）

株式会社
アンプリワイズ（aw' sc）代表取締役
理学療法士

（株）アンプリワイズ～腰痛予防ソリューションでもっと豊かな健康投資を～
アンプリワイズは「企業の産業保健の支援者」であり、「企業の腰痛対策戦略づくりの専門家」です。

（事業内容/特徴）「理学療法士」が「企業の腰痛対策のコンサルティング」もしながら、「エルゴノミクス（人間工学）的観点も踏まえて、まとめて、ヒトに腰痛対策を教えることで、働きやすい職場づくりを目指す」が、アンプリワイズの特徴です。職場の腰痛対策の専門家。多業種他業界の企業 2,000 社以上の指導実績。行政事業で、ダイレクトに、「理学療法士」を活用して、企業の指導にあたるのは、全国でも稀なスタイル。勤労者の作業現場の動作や作業の仕方をみて（現場視察）、腰痛問題の起因を言及し（臨床的・リーズニング理論で分析）、それに見合った解決の仕方を指導（コンサルティング）、提案（業務形態に合わせた環境改善アドバイス、作業工夫アドバイス、プログラム・エクササイズ等）をすることで本質的な問題から改善を図り、職場の腰痛のリスクを軽減させることが役割です。

略 歴

- ❖ 医療法人タピック 沖縄リハビリテーションセンター病院
- ❖ ふくやま整形外科 理学療法士
- ❖ 学校法人智晴学園 専門学校 琉球リハビリテーション学院 教員

行政委託事業・経歴

- ❖ 沖縄労働局 健康安全課「腰痛予防アドバイザー」事業担当（H26～29年、現在）
- ❖ 沖縄県産業保健総合支援センター「職場の腰痛対策」担当（H28～29年、現在）
- ❖ 沖縄県内国立大学内・産学官連携事業（（株）沖縄TLO）（H25～26、30年～）
「健康・介護に関するライフスタイルイノベーション」事業担当コンサル（アソシエイツ）
- ❖ 沖縄県県庁職員腰痛対策プランナー/サポーター（委託事業）（H30～、現在）
- ❖ その他/厚労省・経産省「腰痛指導」事業・沖縄担当（H25～26年）
（その他一般企業含む指導実績件数 2,000 社以上）

ANA 沖縄空港株式会社、JAL 沖縄、中央郵便局、パナソニック（沖縄）、
各市町村給食センター、在日米軍基地内日本人管轄部署、沖縄県内医療施設 150 社以上、
介護関連施設 400 社以上、保育園施設 100 社以上、貨物運搬業 100 社以上、その他・多数

産業保健の可能性を拓げる

山内 義崇

(株) アンプリワイズ (aw' sc) 代表取締役

沖縄労働局 健康安全課「腰痛予防アドバイザー」事業担当

沖縄県職員健康管理センター 県庁職員腰痛対策プランナー/アドバイザー

独立行政法人労働者健康安全機構沖縄産業保健総合支援センター「職場の腰痛対策」担当

僕たち勤労者は労働環境において、生き活きとした健康面が確保された状況で労働資本力を発揮します。このような機能・役割を果たすのが「企業の産業保健」です。「産業保健」活動では、労働安全衛生法が規定する産業医と労使等との関係性があり、その活動は企業の規模や組織の業種・業態によって関わる産業保健専門職の数などが異なります。ある事業所では、環境、品質、安全、健康保険組合などとも関係性を保つようになります。

ご存知のように日本の制度上、産業保健専門職には「含まれていない」理学療法士ですが、「まったく役に立たない」専門職という訳ではないことをこれから筆者が伝えていく必要があるのだと使命感を持っています。

大きな枠で捉えると産業保健には、「企業の中で組織を組み立てる」産業保健と、「企業の外から支援してもらう」産業保健が在ります。

「理学療法士」であり、「企業の腰痛対策専門のコンサルタント（作業管理士等）」として活動している弊社は、まさしく「企業の外から支援する」産業保健活動として、その機能・役割を果たしています。その社会的ニーズも数多くの見込みがある事を経験しています。

先進国では「産業理学療法士」という制度上の社会的立場を持ち、企業の中で理学療法を実践し従事体制を持っている事は、同じ理学療法士として認識しておくといいでしょう。

とは言いましても、利益追求の市場にある企業に対して信頼構築を図り、成果をだしながら支援する関係性を保つことは、どの諸外国でも苦勞されている現状があります。

同じく弊社事業も、これまでの 8 年間は数多くの業務形態を変えながら、「行政主体（目線）で必要とされる理学療法とは？」を日々学びながら、実践・活動を増やしてきた経緯があります。これらの取組みは、次世代で産業保健に取り組む理学療法士には必要な観点として活用されることでしょう。同じく日本の理学療法全体においても今後の市場の拡大（職域拡大）の見込みや、日本社会全体で貢献する行為そのものが、企業（勤労者）ならびに行政からの社会的評価・信頼を得るための一定の道しるべになるのではないかと期待します。

制度上、2018 年現在は少なくとも産業保健専門職として所属していない現状です。従って、乗り越えられない高いハードルは、幾つもあるのは否定できませんが、全国の理学療法士が産業保健分野に参入する価値は、大いに見込みのある取組みになるものだと、期待していただけると幸甚です。当日は、次世代を担う長崎県の若手理学療法士をはじめ、これから大きなパラダイムシフトを興せるように、そして新たな使命感（勤労者の健康支援）を享受できるように、産業保健の可能性についてお伝えしたいと思います。

日韓国際交流講演

2月25日(日) 11:00~12:30

時津カナリーホール ホール

韓国の産業理学療法の実状

講 師 HAN Ok Cheon 氏

社団法人 大韓物理治療士協会

釜山広域市物理治療士会 副会長

座 長 塩塚 順

公益社団法人 長崎県理学療法士協会 会長

浦川純二

公益社団法人 長崎県理学療法士協会 学術局長

プロフィール



HAN Ok Cheon (한·옥·철)

P T, 釜山士会副会長

略 歴

釜山カトリック大学 物理治療学科 卒業

職 歴

SHINHWA リハビリ医学病院 リハビリ室長

釜山広域市物理治療士会 副会長

大韓物理治療士協会 会員

大韓物理治療士協会 中央代議員

大韓頭痛治療研究会 会長

釜山広域市 療養保険等級判定員

上田法 アドバンスコース

日本マイオチューニングアプローチ (MTA) インストラクター

韓国の産業理学療法の実況

HAN Ok Cheon

社団法人 大韓物理治療士協会 釜山広域市会 副会長

はじめに

最近、労働作業に関連する筋骨格系疾患が産業保健分野において重要な問題となっており、それとともに産業理学療法に対する関心が高まっている。韓国においても現場の労働者において、筋骨格系疾患に対する関心が高まっている。今回、韓国の労働作業に関連する筋骨格系疾患に対する一般的な状況を調べたので報告する。

目的

作業場における筋骨格系疾患に対する早期治療および早期復帰のために、作業場でのリハビリテーションプログラムなど医学的な管理が必要である。また筋骨格系疾患の原因および助長する要因を除去および管理することができ、傷害を予防することを目的とする。

方法

労働作業における筋骨格系疾患に起因する特定身体部位の反復的な動作・異常姿勢・強い労働強度・過負荷・不十分かつ不規則的な休息・不適正温度の作業環境・振動などを、評価ツールを用いて評価、分析して予防プログラムを適用する。

結論

韓国の管理プログラムは、そのほとんどが「疼痛」に対する治療および予防中心であるため、労働作業関連筋骨格系疾患の予防には限界がある。欧米ではすでに「機能」中心の管理プログラムを運営している。今後韓国における産業理学療法も先進国のように、疼痛面のみでなく機能面も考慮した管理プログラムが必要とされる。

なお、根本的な傷害予防のために作業環境の改善を図りつつ、産業理学療法に従事する理学療法士は、筋骨格系疾患患者の治療技術向上は無論、持続的な保健教育を通して遂行力量を向上させ、総合的な産業理学療法管理専門家にならないといけない。

県民公開講座

2月 25 日（日） 15:00～17:00

時津カナリーホール ホール

スポーツを通じて子ども達の可能性を拡げる

講 師 内村 周子 氏

スポーツクラブ内村・コーチ
クラシックバレエ教師 (Shu バレエスタジオ)

能 由美 氏

motto assist 理学療法士
日本体育協会公認アスレチックトレーナー

司 会 奈良崎 博一

第 29 回長崎県理学療法学会 副大会長



講師紹介

内村 周子（うちむら しゅうこ）

スポーツクラブ内村・コーチ
クラシックバレエ教師 (Shu バレスタジオ)

プロフィール

長崎純心女子学園 卒業後 現在の 長崎県立大学卒業

その後体操教室で幼児体育の指導にあたる。1992年に夫 和久氏と共にスポーツクラブ内村を開設。

2歳から大人までの体操を指導。クラシックバレエ教師 (Shu バレスタジオ) も行なっている。現在 スポーツクラブ内村・Shu バレスタジオで幼少から大人の方までの指導に携わっている。又、2017年4月より 東京都渋谷区で、幼児・児童の体操教室の指導も行っている。

2008年 北京オリンピック個人総合銀メダル・世界選手権 (2009年 ロンドン・2010年 ロッテルダム・2011年 東京) 2012年 ロンドンオリンピックで個人総合金メダル 2013年 アントワープ世界選手権 個人総合金メダル 2014年 中国南寧世界選手権 団体銀メダル個人総合金メダル そして2015年 イギリスグラスゴーにて団体金メダル・個人総合金 2016年 リオデジャネイロオリンピック 団体金メダル・個人総合金メダル 史上初の連覇となった 内村航平を1989年に、1991年にはその妹 春日 (ハルヒ) を出産。2児の母でもある。



講師紹介

能 由美 (のう ゆみ)

motto Assist

理学療法士

日本体育協会公認アスレチックトレーナー

略 歴

1999 (平成 11) 年 3 月 長崎医療技術専門学校 理学療法学科卒業

2016 (平成 28) 年 3 月 長崎外国語大学 現代英語学科 卒業

2012 (平成 24 年) 4 月 - 現在 いまむら整形外科医院 非常勤勤務

2016 (平成 28 年) 7 月 - 現在 motto Assist 設立 (長崎市城山町 2 - 2 - 101 TEL080-1725-5862)

長崎県バスケットボール協会医科学委員会副委員長 (国体トレーナー、予防活動など)

【資格】

日本体育協会公認アスレチックトレーナー、赤十字救急法救急員

理学療法士 (国家資格)、中学校教諭二種免許 (保健体育)

【予防・トレーニングテクニック】

Cincinnati Sportsmedicine Research and Education Foundation's Sportsmetrics Certification Course2007

TRX Rip Training Course (TRX リップトレーニングコース終了 2013~)

【治療・臨床テクニック】

Graston Technique(グラストンテクニックコース終了 2012~)

現在の主な活動

1. 病院内リハビリテーション業務 (運動療法、足底板&スプリント作成、テーピング指導など)
2. 長崎県バスケットボール協会医科学委員会: 膝外傷予防活動やアンケート調査、国体帯同トレーナーなど
3. 長崎県サッカー協会医学委員会: 国体帯同トレーナー&トレーナー養成講習会協力
4. バスケットボール女子日本リーグ機構トレーナー部部員: 既往歴調査集計&報告、膝外傷予防活動協力
5. スポーツ庁: 長崎県教育委員会、運動部指導者派遣事業 (AT 派遣): 学校訪問 40-60 回訪問
6. 大会トレーナー: 福岡国際女子テニス 2015、久留米国際女子テニス 2015,2016,2017、飯塚国際女子テニス 2017
7. パーソナルトレーナー: プロテニス選手帯同: 奈曼国際女子テニス 2017、天津国際女子テニス 2017

スポーツを通じて子ども達の可能性を拓げる

子ども達を支える大人のかかわり方

motto Assist 理学療法士

日本体育協会公認アスレチックトレーナー

能 由美

2017 年度長崎県では理学療法士、アスレチックトレーナーが行政と協働し 3 つの事業を展開している。小学校、中学校、高校で児童、生徒に運動と栄養、休養について直接指導する時間を設けていただき活動している。

その中の 1 つ「オリンピックパラリンピック教育充実啓発事業」が展開されている。長崎県は唯一、アスレチックトレーナーの資格を有する理学療法士が推進委員として任命され、中学・高校への啓発事業に取り組んでいる。オリンピックは「学ぶ」「観る」「する」「支える」、パラリンピックは「勇気」「強い意志」「インスピレーション」「公平」など、スポーツで得られるものは試合での「勝利」だけではないことを考える機会を設けている。オリンピックの目的として人間育成と世界平和が掲げられ、2016 リオデジャネイロ大会では 206 の国と地域、パラリンピックでは 159 の国の地域が参加している。日本では 1909 年に柔道の創始者である嘉納治五郎が IOC 委員に就任し、1911 年に大日本体育協会（現日本体育協会）を設立、1912 年第 5 回ストックホルム大会に初めて参加したのが始まりである。

オリンピック憲章「オリンピズムの根本原則」には「オリンピック精神は友情、連携そしてフェアプレーに基づく相互理解が必須である」と示され、この精神は子どもたちのスポーツ活動に直結していくものであると考える。ドーピング問題も身近な風邪薬や漢方薬、サプリメントの摂取から注意を促し、薬に頼らない、栄養と休養と運動のバランスいい生活を心がけることを教育していく必要がある。

厚生労働省「平成 27 年度乳幼児栄養調査結果概要」によると起床時刻が早い子ども、就床時刻が早い子どもほど朝食を必ず食べる割合が多いことが示されている。学校訪問時に生徒に尋ねると 22:00 前に就寝している生徒の割合は大変少ない傾向であった。学校部活動や勉強、宿題など様々な要因が考えられるため、大人による環境整備が必要だと感じる。

将来、「からだ」と「こころ」を自分の力で整えることができるように、子供の時から何を食べ、どのように休養をとり、どのように運動したらいいのか、大人が日常生活の中で子どもと共に取り組み、子ども達が自然に身に着けていけるような環境を作っていくことが必要だろう。

教室での座位姿勢、放課後のゲーム遊びでの座位姿勢、単一のスポーツ活動による偏った筋活動等、常に圧迫される臀部や動かない肩甲骨など日常の様々な活動の中で使用しない部分が出現してくる。そこで姿勢や筋肉の伸びの偏りを一日一回良い状態に戻す運動やストレッチを推進している。

今回は実際に小学校、中学校で取り組んでいる教室でできるイスでのストレッチ、どこでもいつでもできる立位でのストレッチを紹介し、日頃から親子で取り組める内容を提供したい。

一般演題プログラム

口述発表

ポスター発表

第29回長崎県理学療法学会 in 時津

【口述発表 1日目・2日目】

1日目 2月24日(土)			
口述①(15:30~16:30)			
座長:田中 康明(済生会長崎病院)			
O1-1	高校女子ハンドボール部に対する障害予防に向けた介入報告	菅原剛	長崎労災病院
O1-2	車いすバスケットボールにおけるトレーナー活動報告 - 理学療法士の障がい者スポーツへの関わり-	小森峻	医療法人こんどう整形外科
O1-3	変形性膝関節症患者におけるJKOMと膝関節伸張筋力の関係	野口薫	古川宮田整形外科内科クリニック
O1-4	長崎県高校バスケットボール部の指導者に対する膝前十字靭帯損傷に関する意識調査と年間発生率第(2報)	宮本由姫	塚崎整形クリニック
O1-5	長崎県サッカー協会医学委員会の活動 ~高校サッカー3大会メディカルサポート活動の報告~	吉田大佑	チカラ整形外科スポーツ リウマチクリニック
O1-6	当院におけるスポーツ選手の足関節腓骨骨折受傷者の特性とスポーツ復帰	西尾由季子	貞松病院
口述②(15:30~16:30)			
座長:島崎 功一(長崎労災病院)			
O2-1	在宅酸素療法導入にあたり、携帯型酸素の使用拒否や指導に難渋した一症例	谷内 涼子	佐世保中央病院
O2-2	回復期入院早期より離床開始し基本動作の改善がみられた誤嚥性肺炎後の一症例	永島美佳	燿光リハビリテーション病院
O2-3	気管支喘息発作患者への体位排痰法の適応について	井手くるみ	長崎みなとメディカルセンター
O2-4	低負荷頻回介入が有効であった続発性気胸の一症例	坂田 薫	長崎記念病院
O2-5	肺切除術後の急性期リハビリテーションにおいて、術後せん妄症状と脳梗塞による症状の判別が困難であった一症例	増田彩香	長崎原爆病院
O2-6	心不全症例の再入院に及ぼす因子の検討	峰松俊寛	長崎県島原病院
口述③(16:40~17:40)			
座長:森本 将司(貞松病院)			
O3-1	大腿骨近位部骨折患者に対する神経筋電気刺激の効果の検討	梅田 裕樹	燿光リハビリテーション病院
O3-2	術後皮膚の滑走性が乏しい患者の可動域制限について ~左大腿骨転子部骨折の症例を担当して~	濱崎拓郎	長崎百合野病院
O3-3	スクワットの動作速度が大腿四頭筋の筋活動に与える影響	三根立己	和仁会病院
O3-4	当院における肩関節周囲炎患者の初診時の傾向 ~病期と病態把握の重要性~	松本伸一	古川宮田整形外科内科クリニック
O3-5	足部骨折患者に対する訓練機能付き下肢筋力測定器を用いた理学療法効果について—2例の踵骨骨折患者における検討—	柿田徹郎	長崎記念病院
O3-6	疼痛最前線 第3報 ~当院腰痛対策に向けた取り組み~	中畑修平	長崎百合野病院
口述④(16:40~17:40)			
座長:宮内 利喜(宮崎病院)			
O4-1	介護老人保健施設における短下肢装具の実態調査	富永賢太	介護老人保健施設 長寿苑
O4-2	急性期重症脳卒中患者に対する歩行再獲得を目指した早期からの理学療法介入~複数の予後予測とあきらめないリハビリテーション~	山口佑矢	長崎労災病院
O4-3	しびれを伴う疼痛を有した脳出血患者の理学療法に関する一考察	浜崎茜	長崎リハビリテーション病院
O4-4	右前頭頭頂葉出血によりPusher現象を呈した症例を担当して	元村龍馬	長崎みなとメディカルセンター
O4-5	家族指導に重点をおき、在宅復帰を目指した重度心原性脳塞栓症を呈した一症例	久野 航平	燿光リハビリテーション病院
O4-6	右視床出血により左片麻痺を呈した症例への麻痺側遊脚期ステップトレーニングの効果	永田 浩平	池田病院

第 29 回長崎県理学療法学会 in 時津

2日目 2月25日(日)

口述⑤(9:50~10:50)

座長:大嶋 孝明(長崎リハビリテーション病院)

O5-1	上腕骨近位骨端損傷の身体的特徴	中尾雄一	古川宮田整形外科内科クリニック
O5-2	中学野球選手の試合での投球が関節可動域に与える影響	濱田孝喜	貞松病院
O5-3	当院の野球肘検診への取り組み	森川 明典	山口整形外科医院
O5-4	アスレティックトレーナーによる子どもの体力向上事業の事前アンケート調査結果	能 由美	いまむら整形外科医院
O5-5	片麻痺を有する大腿骨転子部骨折術後患者に対する受傷前歩行の獲得に向けたアプローチ - 恐怖心と注意障害の改善を目指して-	赤木 志帆	長崎記念病院
O5-6	大腿骨転子部骨折を受傷した片麻痺患者の退院後の生活空間拡大を目指した介入の経験- 退院1年後の追跡結果も含めて-	中川 晃一	長崎記念病院

口述⑥(9:50~10:50)

座長:山本 修平(白十字会訪問看護ステーション)

O6-1	産後に重度の腹直筋離開を呈した症例に対してのアプローチ	村田広志	長崎百合野病院
O6-2	心不全・腎不全を呈し、精神面に問題を抱えた症例へ多職種介入し患者教育を行った経験	酒匂雄基	長崎みなとメディカルセンター
O6-3	心不全症状を呈した高齢の重症拡張型心筋症患者に対する心臓リハビリテーション介入が運動耐容能の回復をもたらした一例	川上幸輝	長崎記念病院
O6-4	当院1-2時間通所リハビリにおける糖尿病神経障害の有無による運動機能の調査	疋田祐一	池田病院
O6-5	当院における外来血液透析患者に対する透析中の運動療法の取り組み	西木章展	和仁会病院
O6-6	右被殻出血により重度左片麻痺を呈した症例に対する歩行介助の検討	荒木 翼	佐世保中央病院

口述⑦(13:20~14:20)

座長:富田 義人(長崎大学)

O7-1	重度の筋力低下や疼痛が主体の廃用症候群を呈した症例に対するリハビリテーションの経験 - 運動療法, 神経筋電気刺激療法, 教育・心理療法の併用効果 -	徳永嵩栄	長崎記念病院
O7-2	鏡視下腱板修復術患者のSh36とJOA scoreについて	前田 亮	済生会長崎病院
O7-3	転倒後の骨折患者における入院前の生活調査	植田浩章	十善会病院
O7-4	運動療法と物理療法の併用により、重症度の高いPilon骨折で足関節機能障害の改善が見られた症例	石永和花	国立病院機構長崎病院
O7-5	外科的治療が困難な大腿骨頸部骨折を呈した症例に対しての訪問リハビリテーションによる介入例	カ久俊基	柿添病院
O7-6	ボタン穴変形に対するスプリント療法の治療成績	横田詩歩	いまむら整形外科医院

口述⑧(13:20~14:20)

座長:笹原 順哉(長崎北病院)

O8-1	諦めていた在宅での余暇活動の獲得を目指して ~興味・関心チェックシートを用いて~	内藤拓也	長崎北病院
O8-2	障害者就労 ~福祉の視点からみる医療と福祉の連携~	三浦隆太	合同会社ハイル
O8-3	虚弱高齢者におけるリハビリテーション介入の現状	山口晃樹	十善会病院
O8-4	理学療法士養成校における「地域包括ケア」講義の紹介	庄崎 賢剛	こころ医療福祉専門学校 教員
O8-5	「急性期」と「回復期」異なる機能を持つ病院間の人事交流の取り組み報告~回復期リハビリテーション病棟スタッフの立場から~	兒玉敬	長崎リハビリテーション病院
O8-6	『急性期-回復期』病院間人事交流研修によって生まれた変化とは -急性期リハの立場から-	呉林 潤	長崎みなとメディカルセンター

第 29 回長崎県理学療法学会 in 時津

【ポスター発表 1日目・2日目】

1日目 2月24日(土)			
ポスター①(16:40~17:40)			
P1-1	体幹・股関節へのアプローチにより座位姿勢の改善が図られた症例 ～SIReP-PDを用いた取り組み～	渡辺あかり	長崎北病院
P1-2	橋出血による失調症状を呈した症例に対する歩行へのアプローチ ～ロボットスーツHALとTENSを併用した効果の比較～	堺 陽久	長崎北病院
P1-3	回復期リハビリ棟へ入院したADL全介助の重度脳卒中患者の自宅退院に向け、家族に対して理学療法士が行った基本的動作の介助指導	松田卓真	長崎リハビリテーション病院
P1-4	脊髄損傷患者の歩行獲得に向けた介入 ～視覚フィードバックで随意収縮を促した症例～	阿比留美貴	和仁会病院
P1-5	長崎市銭座地区のサロン利用者における 居住環境の違いと外出の関連	坂本 凌	こころ医療福祉専門学校 学生
P1-6	長崎市銭座地区のサロン利用者の外出調査	上田大空	こころ医療福祉専門学校 学生
P1-7	長崎市銭座地区のサロン利用者の外出満足度と外出の関連	横田裕季	こころ医療福祉専門学校 学生
P1-8	足関節骨折を呈した肥満患者に関する文献レビュー	早坂尚輝	貞松病院
P1-9	転倒により脛腓骨遠位端骨折を受傷した症例に対する免荷期での工夫～転倒歴のある症例に対する足部機能への介入の一例～	田川成美	長崎百合野病院
P1-10	腰部脊柱管狭窄症患者のX線画像から機能障害に着目した一例	濱田啓太	長崎百合野病院

2日目 2月25日(日)			
ポスター②(9:50~10:50)			
P2-1	上肢の振りが歩行へと与える影響 ～Walk Aide・上肢へのTENS併用～	濱崎航大	長崎北病院
P2-2	痙直型四肢麻痺児の自宅での排泄介助の軽減を図れた一症例	永重希美	三川内病院
P2-3	産後理学療法の実践 ～下肢痺れを主訴とする症例に対する鑑別的评价過程～	下田真太郎	長崎百合野病院
P2-4	腰痛女性に対する肩甲骨へのアプローチにて疼痛軽減した1例	鶴田ひかり	済生会長崎病院
P2-5	通所リハビリテーション利用者と 高齢者ふれあいサロン利用者の特徴	川村征大	女の都病院
P2-6	左橋出血後遺症によりバランス能力が低下した症例へ バランスディスクを用いた運動療法の効果検証	山里 隆	池田病院
P2-7	法人内連携強化の取り組み ～生活期・回復期合同での症例検討会を通して見えてきた課題～	小田晃平	訪問看護ステーションひまわり
P2-8	腰椎椎間板ヘルニア再々発予防の為に 理学療法士ができる指導と患者管理	吉井昂輝	長崎百合野病院
P2-9	変形性膝関節症患者に対する多面的視点からの理学療法 アプローチ ～体幹機能及び姿勢アライメントに着目して～	栗山亜希子	古川宮田整形外科内科 クリニック
P2-10	プロテインS欠損症および球状赤血球症に起因する上腸間膜静脈・ 脾静脈・門脈血栓症を発症した若年男性に対する理学療法の一経験	村田 茜	日本赤十字社長崎原爆病院



第 29 回長崎県理学療法学会 in 時津